

平成30年「市民の声アンケート」報告書（概要）

1 調査の概要

■目的

市民生活の実態や実感、市の各政策分野の取組に対する満足度・重要度を定量的に把握するとともに、平成22年及び26年に実施した市民の声アンケートの調査結果との比較・分析などを行い、第6次総合計画の後期基本計画の策定及び各施策・事業の推進につなげるもの

■調査方法等

	今回調査	前回調査
調査地域	上越市全域	
調査対象	満18歳以上の市民5,000人	
調査方法	郵送による配布・回収	
調査期間	平成30年1月20日～31日	平成26年1月10日～20日
回収数	2,168	2,336
有効回答率	43.36%	46.72%

2 調査結果

■生活実態・実感

現在の生活実態や生活実感について、うかがいました。

実感の高い項目

順位	項目	実感している人の割合
1	自然が豊かである	90.4%
2	治安がよい	88.6%
3	海や山の幸に囲まれ、食や海産物が豊富である	84.8%

前回調査との比較

順位	項目	実感の変化
1	現在住んでいる住宅の広さや機能に満足している	+5.4
2	自然が豊かである	+4.3
3	学校や図書館などの教育施設が整っている	+4.2

■市の取組に対する満足度と重要度

市が行っている主な取組について、現在どれくらい満足しているか（満足度）、今後どれくらい重要であるか（重要度）をうかがいました。

満足度上位3・下位3

順位	項目	平均スコア
1	水道水の供給	0.80
2	生活排水の処理対策	0.58
3	ごみ減量とリサイクル	0.44
	⋮	
59	商業の振興	-0.37
60	公共交通の利便性向上	-0.46
61	上越妙高駅の周辺整備	-0.49

前回調査との満足度の比較

順位	項目	平均スコアの増減
1	新産業の創出支援	0.08
2	再生可能エネルギー	0.05
3	中小企業支援	0.05
	⋮	
53	公共交通の利便性向上	-0.11
54	直江津港の利用促進	-0.11
55	上越妙高駅の周辺整備	-0.26

重要度上位3・下位3

順位	項目	平均スコア
1	防災対策	1.45
2	雪対策	1.37
3	医療体制の充実	1.28
	⋮	
59	芸術、文化活動の推進	0.50
60	スポーツ・レクの振興	0.50
61	国際的な文化交流の推進	0.43

前回調査との重要度の比較

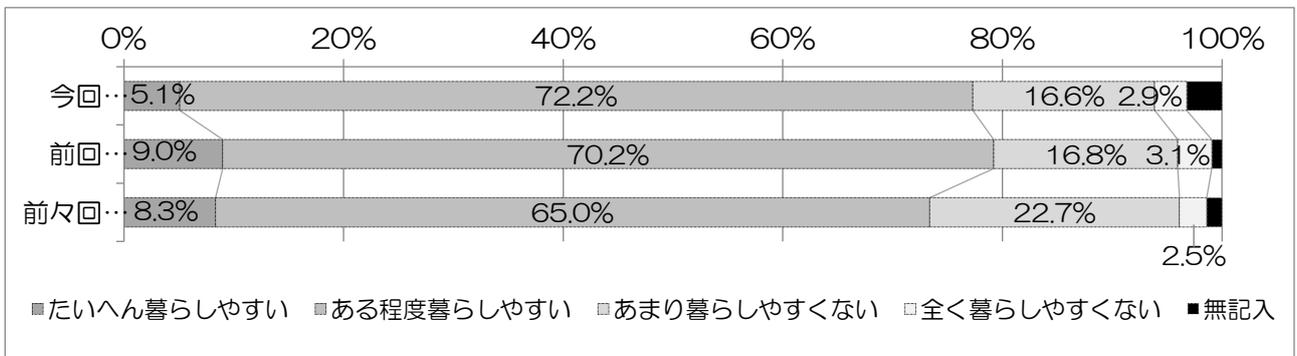
順位	項目	平均スコアの増減
1	上越妙高駅の周辺整備	0.09
2	公共交通の利便性向上	0.09
3	生涯学習の推進	0.09
	⋮	
53	公害対策	-0.10
54	環境啓発活動	-0.12
55	再生可能エネルギー	-0.13

※「平均スコア」の算出方法…「満足している」+2、「やや満足している」に+1、「どちらともいえない」に0、「やや不満である」に-1、「不満である」に-2とし、その平均点について小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示しています。重要度の平均スコアも同様に算出しています。

なお、今回調査で新設した設問及び内容を一部変更した設問は比較から除いています。

■暮らしやすさ

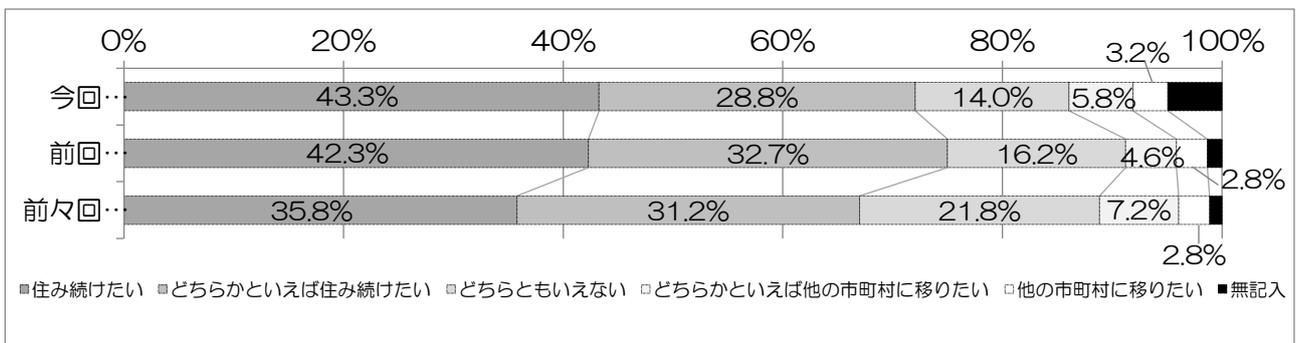
現在の生活を暮らしやすいと感じている市民は約8割（77.3%）



「たいへん暮らしやすい」「ある程度暮らしやすい」を合わせて約8割（77.3%）の市民が暮らしやすいと思っている。前回調査から「たいへん暮らしやすい」が減少し、「ある程度暮らしやすい」が増加した。

■上越市に住み続ける意向

上越市に住み続けたいと思っている市民の割合は7割以上（72.1%）



「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせて7割以上（72.1%）の市民が住み続けたいと思っている。前回調査（75.0%）と比べ、減少したものの、「住み続けたい」と思っている市民は調査ごとに増加している。